



平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場会社名 大日本塗料株式会社

上場取引所 東

コード番号 4611 URL <http://www.dnt.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 岩浅 壽二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員管理本部長

(氏名) 瀬古 宜範

TEL 06-6466-6661

四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	35,880	△5.1	2,964	9.6	2,920	10.7	1,884	26.1
28年3月期第2四半期	37,819	7.7	2,703	53.9	2,639	54.7	1,494	28.3

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 1,276百万円 (9.9%) 28年3月期第2四半期 1,161百万円 (△28.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	12.86	12.82
28年3月期第2四半期	10.08	10.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	66,867	31,032	43.6	200.46
28年3月期	67,732	30,620	42.3	194.88

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 29,167百万円 28年3月期 28,647百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	当期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	—	—	3.50	—	3.50
29年3月期	—	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	4.00	—	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	74,500	△2.5	6,600	12.7	6,500	16.9	4,100	13.4	27.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	148,553,393 株	28年3月期	148,553,393 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	3,052,094 株	28年3月期	1,551,674 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	146,531,209 株	28年3月期2Q	148,297,757 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府、日銀による経済・金融政策により緩やかな回復基調が続いているものの、中国をはじめとする新興国経済の減速懸念や中東・欧州における地政学的リスクを背景に、為替相場や株式市場の不安定さが高まり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの連結業績につきましては、国内塗料事業は、市況の回復が鈍く売上は減少しましたが、高付加価値品の拡販等により利益は増加しました。海外塗料事業は、現地通貨ベースでは増収でしたが、円高による為替換算の影響により売上は減少しました。利益面では高付加価値品の拡販が奏功し、増益となりました。照明機器事業は、蛍光灯関連器具の売上が減少しましたが、製品の収益性が改善し、減収増益となりました。このほか、当社グループでは生産体制の適正化を図っており、拠点の統合に伴う費用を特別損失として計上しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は358億8千万円（前年同四半期比 5.1%減）、営業利益は29億6千4百万円（同 2億6千万円増）、経常利益は29億2千万円（同 2億8千1百万円増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は18億8千4百万円（同 3億8千9百万円増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

〔国内塗料事業〕

主力の構造物分野では、拡販品目の出荷は順調ながら、市況の回復は鈍く、低調に推移しました。建材分野では、新設住宅着工戸数の回復を受け堅調に推移しましたが、他の工業塗料分野における需要の低迷をカバーするまでには至らず、当セグメント全体としては減収となりました。一方で、高付加価値品の拡販や原材料価格の低下により、増益となりました。

この結果、売上高は265億2百万円（前年同四半期比 4.5%減）、セグメント利益は17億3千万円（同 8千5百万円増）となりました。

〔海外塗料事業〕

中国では景気減速に伴い売上が低調に推移したものの、東南アジアや北中米市場においては自動車部品用塗料が好調に推移し、現地通貨ベースでは売上が増加しました。当セグメント全体としては、円高による為替換算の影響を受け減収となりましたが、高付加価値品の拡販が奏功し、増益となりました。

この結果、売上高は35億6千9百万円（前年同四半期比 6.5%減）、セグメント利益は6億4千万円（同 1億5千1百万円増）となりました。

〔照明機器事業〕

重点市場である業務用LED照明器具の需要は堅調に推移しましたが、蛍光灯関連器具の売上の減少を補うまでには至らず、減収となりました。利益面では製品の収益性改善が進み、増益となりました。

この結果、売上高は42億5千2百万円（前年同四半期比 5.6%減）、セグメント利益は3億8千8百万円（同 1億1千万円増）となりました。

〔蛍光色材事業〕

安全対策用塗料が好調に推移したほか、鉄道車輛用カラー帯が新型車輛に採用されたことで増収となりました。一方で、円高による為替換算の影響もあり、減益となりました。

この結果、売上高は7億1千1百万円（前年同四半期比 5.8%増）、セグメント利益は6千2百万円（同 1千3百万円減）となりました。

〔その他事業〕

売上高は8億4千5百万円（前年同四半期比 22.1%減）、セグメント利益は4千7百万円（同 6千1百万円減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は668億6千7百万円となり、前連結会計年度末と比較して8億6千4百万円の減少となりました。流動資産は310億5千2百万円で前連結会計年度末と比較して7億2千7百万円の減少となりましたが、これは現金及び預金の増加2億5千5百万円、受取手形及び売掛金の減少5億1千9百万円、たな卸資産の減少3億1千6百万円、繰延税金資産の減少7千3百万円、その他流動資産の減少1億3千5百万円等が主因であります。固定資産は358億1千5百万円で前連結会計年度末と比較して1億3千7百万円の減少となりましたが、これは有形固定資産の減少4億7千4百万円、投資その他の資産の増加3億6百万円等が主因であります。

負債は358億3千4百万円となり、前連結会計年度末と比較して12億7千7百万円の減少となりました。流動負債は305億5千9百万円で前連結会計年度末と比較して8億5千5百万円の増加となりましたが、これは支払手形及び買掛金の減少9億1千6百万円、短期借入金の増加19億1千7百万円、製品補償引当金の減少9千5百万円、その他流動負債の減少7千2百万円等が主因であります。固定負債は52億7千5百万円で前連結会計年度末と比較して21億3千2百万円の減少となりましたが、これは長期借入金の減少23億6千6百万円、退職給付に係る負債の増加1億3千4百万円等が主因であります。

純資産は310億3千2百万円で前連結会計年度末と比較して4億1千2百万円の増加となりました。これは利益剰余金の増加13億7千万円、自己株式の増加2億9千万円、為替換算調整勘定の減少5億4千9百万円、非支配株主持分の減少1億3千5百万円等が主因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期通期連結業績における売上高につきましては、国内市場において天候不順や建設業界の人手不足による工事遅れから市況が低迷し、また、海外市場では想定以上の円高進行による為替換算の影響を受け、期初予想を下回る見込みです。

一方、利益面につきましては、ナフサ価格の下落に伴う原料コストの低減に加え、高付加価値品の拡販が伸展し、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに期初予想を上回る見込みです。

以上を踏まえ、平成28年5月13日に公表しました連結業績予想を次の通り修正いたします。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	78,000	6,100	6,100	4,000	27.09
今回修正予想 (B)	74,500	6,600	6,500	4,100	27.98
増減額 (B-A)	△3,500	500	400	100	—
増減率 (%)	△4.5	8.2	6.6	2.5	—
(ご参考)前期実績 (平成28年3月期)	76,388	5,858	5,559	3,614	24.48

2. サマリー情報 (注記事項) に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
(持分法適用の範囲の重要な変更)

第1四半期連結会計期間において、当社が保有するセトウチ化工株式会社の株式を全て売却したことに伴い、同社を持分法適用の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,125	3,381
受取手形及び売掛金	17,489	16,970
商品及び製品	5,642	5,574
仕掛品	717	640
原材料及び貯蔵品	3,002	2,830
繰延税金資産	809	735
その他	1,116	980
貸倒引当金	△124	△61
流動資産合計	31,779	31,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,815	19,757
減価償却累計額	△13,214	△13,383
建物及び構築物 (純額)	6,601	6,374
機械装置及び運搬具	21,384	21,287
減価償却累計額	△18,076	△18,145
機械装置及び運搬具 (純額)	3,307	3,142
土地	11,885	11,823
リース資産	1,286	1,310
減価償却累計額	△489	△558
リース資産 (純額)	797	751
建設仮勘定	33	41
その他	5,364	5,469
減価償却累計額	△4,359	△4,447
その他 (純額)	1,004	1,022
有形固定資産合計	23,629	23,155
無形固定資産		
のれん	3	—
リース資産	319	350
その他	430	432
無形固定資産合計	753	782
投資その他の資産		
投資有価証券	6,070	5,902
繰延税金資産	1,782	1,864
退職給付に係る資産	2,937	3,393
その他	855	795
貸倒引当金	△75	△78
投資その他の資産合計	11,570	11,876
固定資産合計	35,953	35,815
資産合計	67,732	66,867

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,251	15,334
短期借入金	7,291	9,209
リース債務	267	293
未払法人税等	629	655
役員賞与引当金	27	—
製品補償引当金	233	138
環境対策引当金	14	13
その他	4,987	4,914
流動負債合計	29,704	30,559
固定負債		
長期借入金	2,676	309
リース債務	885	921
繰延税金負債	1,252	1,271
再評価に係る繰延税金負債	1,303	1,303
退職給付に係る負債	1,154	1,289
環境対策引当金	58	106
その他	76	72
固定負債合計	7,408	5,275
負債合計	37,112	35,834
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,827	8,827
資本剰余金	2,452	2,452
利益剰余金	12,362	13,732
自己株式	△260	△550
株主資本合計	23,382	24,462
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,868	1,866
土地再評価差額金	1,882	1,882
為替換算調整勘定	90	△459
退職給付に係る調整累計額	1,423	1,415
その他の包括利益累計額合計	5,265	4,705
新株予約権	55	82
非支配株主持分	1,917	1,782
純資産合計	30,620	31,032
負債純資産合計	67,732	66,867

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	37,819	35,880
売上原価	27,085	24,846
売上総利益	10,734	11,034
販売費及び一般管理費	8,030	8,069
営業利益	2,703	2,964
営業外収益		
受取利息	1	3
受取配当金	83	89
その他	170	158
営業外収益合計	256	251
営業外費用		
支払利息	111	63
環境対策費	—	69
その他	209	162
営業外費用合計	320	295
経常利益	2,639	2,920
特別利益		
固定資産売却益	64	2
受取保険金	118	—
その他	8	—
特別利益合計	192	2
特別損失		
事業構造改善費用	91	137
災害による損失	158	—
その他	79	60
特別損失合計	329	198
税金等調整前四半期純利益	2,501	2,724
法人税、住民税及び事業税	516	714
法人税等調整額	378	3
法人税等合計	895	718
四半期純利益	1,605	2,006
非支配株主に帰属する四半期純利益	110	121
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,494	1,884

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	1,605	2,006
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△341	△2
為替換算調整勘定	△35	△718
退職給付に係る調整額	△53	△7
持分法適用会社に対する持分相当額	△14	△2
その他の包括利益合計	△444	△730
四半期包括利益	1,161	1,276
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,069	1,325
非支配株主に係る四半期包括利益	91	△48

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,501	2,724
減価償却費	957	937
のれん償却額	6	3
受取保険金	△118	—
事業構造改善費用	91	137
災害損失	158	—
環境対策費	—	69
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39	△27
退職給付に係る資産負債の増減額	△467	△333
製品補償引当金の増減額 (△は減少)	△4	△95
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△1	46
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△59
受取利息及び受取配当金	△85	△93
支払利息	111	63
持分法による投資損益 (△は益)	△1	0
固定資産売却損益 (△は益)	△64	△2
固定資産処分損益 (△は益)	49	31
売上債権の増減額 (△は増加)	△389	260
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△496	126
仕入債務の増減額 (△は減少)	258	△682
その他	△54	△108
小計	2,412	2,999
利息及び配当金の受取額	87	94
利息の支払額	△112	△64
事業構造改善費用の支払額	△57	—
災害損失の支払額	△13	—
環境対策費の支払額	—	△3
法人税等の還付額	132	29
法人税等の支払額	△550	△740
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,897	2,315
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3	△8
定期預金の払戻による収入	3	2
有形固定資産の取得による支出	△648	△546
有形固定資産の売却による収入	131	3
有形固定資産の除却による支出	△27	△11
投資有価証券の取得による支出	△11	△11
関係会社株式の売却による収入	56	166
その他	3	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△495	△395

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,334	82
長期借入れによる収入	833	100
長期借入金の返済による支出	△3,416	△569
自己株式の取得による支出	△250	△290
リース債務の返済による支出	△124	△135
配当金の支払額	△445	△514
非支配株主への配当金の支払額	△92	△86
その他	△20	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,181	△1,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5	△253
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	215	251
現金及び現金同等物の期首残高	2,444	3,072
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,659	3,324

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成28年5月13日開催の取締役会決議に基づき、自己株式1,500,000株の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が289百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が550百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	27,741	3,816	4,504	672	36,734	1,085	37,819	—	37,819
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	392	2	14	24	434	1,253	1,688	△1,688	—
計	28,134	3,818	4,519	696	37,168	2,339	39,508	△1,688	37,819
セグメント利益	1,644	488	277	76	2,486	108	2,595	108	2,703

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額108百万円には、セグメント間取引消去114百万円、のれんの償却額△6百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額 (注) 3
	国内塗料	海外塗料	照明機器	蛍光色材	計				
売上高									
外部顧客への 売上高	26,502	3,569	4,252	711	35,034	845	35,880	—	35,880
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	407	0	0	29	437	1,212	1,649	△1,649	—
計	26,909	3,569	4,252	740	35,471	2,057	37,529	△1,649	35,880
セグメント利益	1,730	640	388	62	2,821	47	2,868	95	2,964

(注) 1. その他の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、塗装工事業、物流事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額95百万円には、セグメント間取引消去99百万円、のれんの償却額△3百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。